

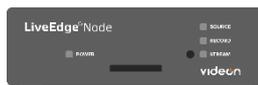
2023年11月15日

パブリックインターネット回線利用の映像伝送をサブスクリプションで手軽に実現 北米における実績多数の米・Videon 社製 IP エンコーダーの取り扱いを開始

株式会社フォトロン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 瀧水 隆)はこのたび、Videon Central, Inc (本社:米国ペンシルバニア州、CEO Tricia Iboshi、以下Videon社)製品の取り扱いを開始いたします。



<Videon 社ロゴ>



<LiveEdge® Node 製品イメージ>



<LiveEdge® Max 製品イメージ>

取り扱いの経緯

当社ではパブリックインターネット回線で映像・音声を転送するための規格である SRT プロトコル(以下 SRT)に対応した映像伝送およびリモートプロダクション向け機器の販売やサービスの提供を行っています。

近年 YouTube などのプラットフォームが SRT に対応したことで、ライブ配信やプロダクションに利用できるミッドレンジの IP ストリームエンコーダの取り扱い増強を検討しており、北米市場にて多くの実績がある Videon 社との販売代理店契約締結に至りました。

Videon 社はスポーツやエンタメのライブ配信だけでなく、エッジコンピューティング(注 1)を用いて企業広告やスポンサー向けマネタイズを簡単にワークフローに取り込むことができる技術を提供しているテクノロジーベンダーです。

同社の製品ラインナップは、シンプルな IP エンコーダーでなくプロダクション機能を持つこと、今後の配信コンテンツをよりリッチ化するためにエッジコンピューティングのテクノロジーに着目している点が魅力です。それらとクラウドコンピューティングとの併用でより独自性の高い、自由なプロダクションワークフローの提供を行ってまいります。

(注1)エッジコンピューティングを活用することで、クラウドに全情報を送信せず、処理後のデータだけを送信することでネットワーク帯域の効率化が図れるとともに、クラウドコンピューティングを最小限にすることでクラウドリソースの利用を最低限に抑えることが期待できます。

提供できる価値と製品特長

Videon 社製品は、ハードウェア・管理ツールともにサブスクリプションでの提供となります。映像制作の市場においても資産から経費という考え方が波及しはじめているため、サブスクリプションとして提供することで制作コストの効率化が期待されます。また同社製品の特長として、パブリックインターネットに接続するだけでリモート管理・制御できる機能が挙げられます。現場に人を派遣せずに、中央で機材を一元管理することで管理コストの削減に寄与します。さらに、多くのエンコードプロトコルや様々な配信プラットフォームに対応しているため、手軽に IP 伝送を実現。視聴者に信頼性の高い高品質なライブ・ストリーミング体験を提供しながら、遅延を最小限に抑えることができます。

Videon 製品 Web ページ: <https://www.photron-digix.jp/product/videon.html>

【株式会社フォトロンについて】

本 社：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング 21 階
代 表 者：代表取締役社長 瀧水 隆
創 業：1968 年 7 月 10 日
資 本 金：1 億円
事 業 内 容：民生用および産業用電子応用システム(ハイスピードカメラ・画像処理システム、CAD 関連ソフトウェア、放送用映像機器、その他)の開発、製造、販売、輸出入
U R L: <https://www.photron.co.jp/>

【お問い合わせ窓口】 株式会社フォトロン 映像サービスデザイン部
電話:03-3518-6273 FAX:03-3518-6279 電子メール: servicedesign-sales@photron.co.jp